

次郎平堤・与十郎堤 ハザードマップ 相川地区 相川大浦

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。（決壊から最大60分後まで計算）

満水状態のため池の堤体が瞬時決壊（天端から池底まで）し、全貯水量が流出すると想定

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。（河川氾濫や内水氾濫は未考慮）



凡 例	
	氾濫水の到達時間
ため池氾濫による最大浸水深	
	3.0m以上の区域
	2.0～3.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
その他危険区域	
	土砂災害警戒区域 (簡易表示・地すべり除く)

ため池諸元 ※ため池台帳より		
ため池名	次郎平堤	与十郎堤
築造年代	明治時代	明治時代
堤高	1.3m (1.6)	1.4m (1.7)
堤長	48.0m	36.0m
天端幅	2.0m	1.6m
貯水量	1,800㎡ (600)	1,000㎡ (700)
受益面積	0.5ha	0.6ha
管理者	関口 治久	山田 勝好

※()内は、令和2年4月の計測値
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差

津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。（佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です）

●佐渡市地域防災マップ（二見・相川・金泉地区版）…………… 平成31年3月作成

